

一級自動車工学科・自動車整備科			2026年度 授業計画			
時期	1年A巡	単元	学科	教科名	シャシ構造A	
科目	自動車工学	教科書等 持参品	三級自動車整備士（総合）		発行日	2026.4.1
総時限	10時限				教科 担当	内川 智輝
総時間	16.0時間					
単位数	1					
<b>1. 実務経験のある教員による授業科目 該当</b>						
エンジン整備の実務経験がある教員によりエンジンの構造・作動について指導する。						
<b>2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 自動車の運動性能の原理を理解する。</li> <li>② 変速装置の概要を理解する。</li> <li>③ 変速装置より後の動力伝達装置を理解する。</li> <li>④ サスペンションのスプリングを理解する。</li> </ul>						
<b>3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 自動車の運動性能「走る」「曲がる」「止まる」を理解出来る。</li> <li>② 自動車の動力伝達装置の概要を理解出来る。</li> <li>③ 動力伝達装置（トランスファ、プロペラシャフト～ドライブシャフト、アクスルシャフト）の構造・機能を理解で出来る。</li> <li>④ サスペンションのスプリングの構造・機能を理解出来る。</li> </ul>						
<b>4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。 ○×、選択肢、記述により100点満点で評価する</li> <li>・合格点：60点以上 80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満）</li> <li>・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上） 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。</li> <li>・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。</li> </ul>						
<b>5. 準備学習</b>						
基礎工学の自動車の機械要素分野を復習しておく。（スプリング、摩擦力について）						
<b>6. 学修時間と単位</b>						
<p>本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。</p> <p>1単位の修得に必要な学修時間の目安は、15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間である。</p>						

